

令和 3 年度 練馬区災害医療運営連絡会の検討事項について（案）

1 令和 3 年度検討事項

(1) 災害時における情報共有ツールの増設について

超急性期において医療需要が増す中、電話回線等の輻輳や、不安定な衛星携帯電話回線によって、区と関係団体が円滑に連絡を取り合えないことが想定される。また、固定電話や防災無線に関しては、災害時の混乱の中、口伝による伝達ミスが起こる恐れがある。

については、インターネットを使用し、複数人とチャット形式でメッセージを送り合うことができる情報共有ツールの導入を検討する。

(2) 感染症流行時における医療救護所訓練の実施について

過去の医療救護所訓練については、医療救護活動の基本的な流れを掴むための訓練を実施してきた。しかし、昨今の新型コロナウイルス感染症の発生により、医療救護所においても感染症対策を織り込んだ訓練を実施する必要性が生じている。

については、基本的な医療救護活動の流れを押さえることに加え、感染症対策を取り入れた訓練を企画し、実施する。

2 令和 3 年度実施訓練（予定）

令和 3 年度は、以下の訓練を予定している。

訓練	内容
医療救護所訓練（継続）	四師会や区職員が医療救護所の立ち上げや傷病者の処置、医療機関への搬送等を行う。
衛星携帯電話通信訓練（継続）	各医療機関の衛星携帯電話から、区の衛星携帯電話へ被害状況等を伝達する通信訓練を実施する。
EMIS 訓練（継続）	区と災害時医療機関の間で、EMIS による情報入力および情報収集訓練を実施する。

3 その他

- ・練馬区医療救護カレンダー 2022 の作成